

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
[手続き書類のご請求方法]	音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aspir.co.jp/koukoku/6412/6412.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

■お知らせ

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式等の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社等)を経由してお届出いただいております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「マイボトル 道」を進呈させていただきます。



下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6412**

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

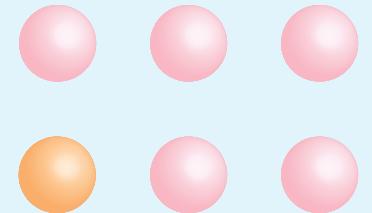
空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

HEIWA INTERIM BUSINESS REPORT 2011



第43期 中間報告書

2010年4月1日～2010年9月30日

「遊技機メーカー間の競争が激しさを増す中、
競争優位性を構築し、さらなる企業価値の向上に努めます。」



代表取締役社長

石塚保孝

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第43期第2四半期(2010年4月1日～2010年9月30日)の事業概況をご報告いたします。

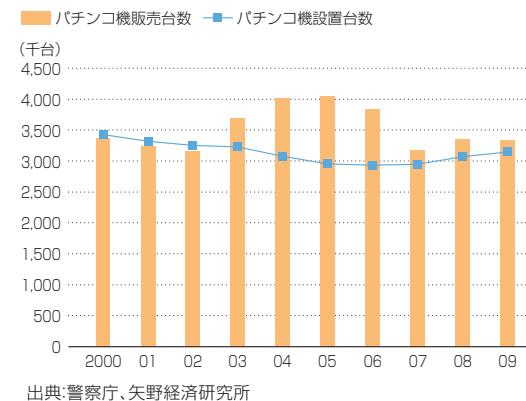
Question 01

当第2四半期の
事業環境はいかがでしたか?

当第2四半期における国内経済は、海外経済の改善や政府の経済対策の効果等を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の下振れ懸念や、急激な円高の進行等の影響により、景気の先行きには不透明感が払拭できない状況が続きました。

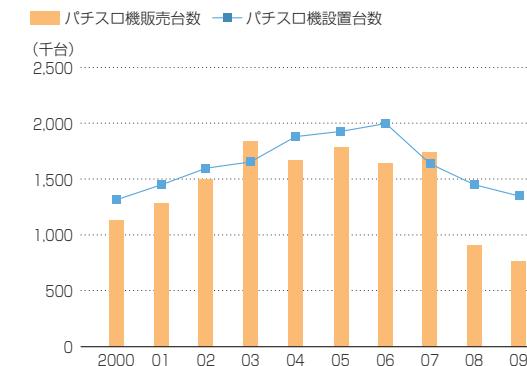
当社グループを取り巻く遊技機業界の動向は、パチンコホールの営業形態として低貸玉営業が定着したことや、各遊技機メーカーから新しいゲーム性能等を盛り込んだ遊技機の販売が活発化したことにより、公益財団法人日本生産性本部の発行する「レジャー白書2010」によれば、2009年の遊技参加人口は、前年より8.9%増加し1,720万人となり、2年連続で増加いたしました。しかし、エンドユーザーの遊技回数の減少や、低貸玉営業の普及に伴う売上高の減少等が影響し、市場規模は前年と

[図1] パチンコ機市場の動向



比べ3.0%減少し21兆円となり、6年連続の減少となりました。
パチンコホールの経営環境を見ると、店舗数の減少傾向が継続する一方、一店舗当たりの遊技機設置台数は増加傾向にあり、店舗の大型化が進行しております。
遊技機の販売動向は、パチンコホールは、安定した稼働が期待できる遊技機を厳選して導入する傾向にあることから、パチンコ機の販売台数が大きく減少し、市場全体の販売台数は軟調に推移いたしました。しかし、パチスロ機市場は、各遊技機メーカーから市場のニーズを反映し、安定した稼働を維持できる、商品性の高い遊技機が複数発売されたため、販売台数が堅調に推移しており、市場回復が期待されております。

[図2] パチスロ機市場の動向



Question 02

当第2四半期の業績については
いかがでしょうか?

当社グループは、遊技機事業におきまして、パチンコ機「元祖!大江戸桜吹雪2」、「ルパン三世 徳川の秘宝を追い Sweet version」、「ゴルゴ13 BACK IN THE BATTLE FIELD」等を発売し、販売台数90千台、売上高は27,868百万円となりました。
パチスロ機は、「南国育ちスペシャル」、「トップをねらえ2!」、「ルパン三世 ルパン一族の秘宝」等を発売し、販売台数50千台、

売上高は15,006百万円となりました。

また、その他の事業として、情報配信サービス等を行い、売上高は613百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期の連結業績は、売上高43,488百万円、営業利益8,481百万円、経常利益13,152百万円、四半期純利益9,495百万円となり、前年同期と比べ増収増益を達成いたしました。

通期の業績につきましては、売上高76,700百万円、営業利益9,200百万円、経常利益18,400百万円、当期純利益14,600百万円を見込んでおります。

下期以降の市場環境は、依然として厳しい環境が続くものと思われませんが、第3四半期においては、パチスロ機「アントニオ猪木が元気にするパチスロ機」、パチンコ機「アントニオ猪木という名のパチンコ機 道」を発売し、下期の販売状況は順調な滑り出しとなっております。

Question 03

株主の皆様への
メッセージをお願いいたします。

当社グループを取り巻くパチンコ機・パチスロ機市場は、各遊技機メーカー間の競争が激しさを増しており、今後もこうした傾向は続くものと思われま



そのような中、当社グループは引き続き「研究開発の強化」、「効果的なリユース設計」、「開発・調達・生産の効率化」を図り、競争優位性を構築してまいります。

また、当社は2010年9月9日をもちまして設立50周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝いたしております。当社グループは、これを機にさらなる企業価値の向上に努め、株主の皆様のご負託にお応えしてまいります。

なお、2011年3月期の配当金につきましては、中間配当金は1株当たり25円とし、期末配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、設立50周年を記念して、1株当たり25円の普通配当金に、1株当たり10円の記念配当金を加え、合計35円(年間60円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

パチンコ機

当第2四半期においては、「元祖!大江戸桜吹雪2」、「ルパン三世 徳川の秘宝を追い Sweet version」、「ゴルゴ13 BACK IN THE BATTLE FIELD」等を発売し、販売台数90千台、売上高は27,868百万円となりました。

New Machine **ゴルゴ13 BACK IN THE BATTLE FIELD**

幅広い世代に人気の「ゴルゴ13」がパチンコ機となって登場。本機では、デューク東郷ことゴルゴ13が超リアルなCGと巨大役物で大活躍。なかでも、業界最大級の巨大ゴルゴフィギュア役物は必見。役物が可動し愛銃のM16で狙撃すれば激熱。液晶演出では、原作をモチーフにしたオリジナルストーリーが創り出すゴルゴ13の世界観がゲームをさらに盛り上げる。



©さいとうたかを/ライド社

パチスロ機

当第2四半期においては、「南国育ちスペシャル」、「トップをねらえ2!」、「ルパン三世 ルパン一族の秘宝」等を発売し、販売台数50千台、売上高は15,006百万円となりました。

New Machine **ルパン三世 ルパン一族の秘宝**

パチスロ機「ルパン三世シリーズ」最新作。本機では、パチスロ機オリジナルのストーリーが展開。ルパン三世ならではのコミカルでスリリングな演出がゲームを熱くする。もちろん、おなじみのタイプライター予告や、伝統のツインBIGも健在。さらに、パチンコ機「ルパン三世シリーズ」に搭載されたサーチライト役物がパチスロ機に初搭載。サーチライトの光の色で大当たり期待度の変化。サーチライトが七色に輝けばお宝はもう目の前だ。



©モンキーパチンコ/TMS・NTV



特集

開発スタッフ座談会

開発に懸ける想いがひとつに。 チームワークが創造した 「アントニオ猪木が元気にするパチスロ機」

2010年11月、ホールに登場した「アントニオ猪木が元気にするパチスロ機」。闘魂をテーマとした本機は「闘魂チャンス」や「道プレミアム」などユーザーが楽しめる機能がぎっしりと詰まったパチスロ機です。今回は、企画・開発を担当したスタッフがその魅力を語りました。

藤下 「アントニオ猪木が元気にするパチスロ機」(以下「猪木」)の開発スタッフがこうして集まったわけだけど、改めて開発期間を振り返ると色々なことがあったね。

竹内 通常のパチスロ機開発に比べると、「猪木」は開発期間が短かったので、スケジュールはやっぱり厳しかったですね。

藤下 最初に自分が「猪木」を担当すると聞いたときはどうだった？

三浦 初代と2代目の出玉も担当したんですが、その当時は若かったこともあって、勢いでつくってしまったという気持ちが

幅広いユーザーを魅了するこだわりの数々。

残っていて。だから今回はもう少し広い視野で開発に取り組もう、そして必ずヒットさせると自分で自分にプレッシャーを与えましたね(笑)。

延武 私は率直に「やったー!」と思いました。猪木シリーズは当社の代表機種ですし、担当できるのはやっぱりうれしかったです。

藤下 企画の段階で、大きなコンセプトとなったのは、初代「アントニオ猪木という名のパチスロ機」の再現だよね。例えば演出面の踏襲や、「闘魂チャンス」の復活とか。

三浦 初代の特長といえば、なんといつてもコインの増加が期待できる「闘魂チャンス」。「猪木」で、この「闘魂チャンス」をどう再現するかは大きな課題でした。

竹内 初代を継承しつつも、「猪木」ならではの楽しさや新しい演出をいかに盛り込んでいくかには苦労しましたね。

藤下 みんなはどの辺が大変だった？

大友 猪木のキャラクターを活かしつつ、

“おもしろい”と“カッコいい”をいかに盛り込むかが大変でしたね。各モードでの期待感や継続演出をどう盛り上げるかは開発スタッフ全員でかなり悩みましたよね。

三浦 「日本を元気にする!全国に闘魂注入!」というコンセプトで、全国各地を舞台に猪木が活躍する都市演出を入れることは決まったものの、47都道府県すべての都市を演出に盛り込むわけにはいかないし、どの都市を採用するかはもめたね。

竹内 結局、都市演出では6都市を舞台として採用し、残りの都道府県は「闘魂チャンス」中に登場させることで全国を網羅できました。各都市の背景を決めるのも大変でしたよね。メジャーなスポットを探したりとか(笑)。

延武 今回新しい筐体が採用されていて、外枠がレインボーに光るんですが、サブ制御担当としては演出と光と音、この一体感を生み出すのに苦労しましたね。

藤下 開発中盤に大きなシステム変更もあったし。



プロジェクトリーダー 藤下 竜実



企画担当 竹内 賢一



CG担当 大友 徳一



©2010 INOKI GENOME FEDERATION.



出玉担当 三浦 和明



サブ制御担当 延武 優

楽しめる機種を楽しんでつくる。ベクトルは同じ方向へ。

竹内 ほかの機種と比べて開発が順調に進んでいただけに、あのシステム変更は大きな出来事でしたね。

大友 そうそう。試打しているうちに「なんかおもしろくないなー。変更だ!」ってなって(笑)。

三浦 でもこうやって振り返ってみると、確かにキツイときもあったけど、「猪木」は開発していて楽しかったな。

竹内 すぐ決定、すぐ実行という決断力が結果的にいいものを生み出せたんじゃないかな。

藤下 最後までスタッフ全員の「楽しめる機種を楽しんでつくる」という気持ちが同じ方向に向いていたよね。

三浦 「楽しんでつくる」といえば、試打のときにも竹内さんがホール店長になって、スタッフに内緒でボーナス確率の低い台を置いたり、ホールさながらに出る台を予感させる札を差したりして(笑)。

竹内 でも、そういう遊び心があったから

こそ、いいチームワークで開発ができたんじゃない?

藤下 では、最後にアピールポイントを。
三浦 4号機のファンにも納得してただけ、そして猪木シリーズを初めてプレイするファンにも楽しんでもらえる機種ができたと思っています。

大友 「猪木」のリール配列や制御を5号機で実現できたのは、実はすごいことなんですよね。

延武 そう。個人的には光や音のバランスをはじめ、そういう細かい部分にも注目してプレイしてもらえたらうれしいです。

竹内 もちろん、プレミアムボーナスや道プレミアム、そして闘魂チャンスといったユーザーに楽しんでもらえる要素も詰め込まれています。

藤下 あとはスタッフのこだわりと闘魂もぎっしり注入されています(笑)。

皆さんにもぜひそれを体感していただければうれしいですね。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第42期 (2010年3月31日現在)	第43期 第2四半期 (2010年9月30日現在)
■ 資産の部		
流動資産	92,301	88,957
固定資産	64,449	64,965
有形固定資産	31,622	31,155
無形固定資産	108	83
投資その他の資産	32,717	33,726
資産合計	156,750	153,923
■ 負債の部		
流動負債	27,621	28,816
固定負債	32,802	21,811
負債合計	60,424	50,627
■ 純資産の部		
株主資本	95,773	102,797
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,063	53,063
利益剰余金	26,899	33,924
自己株式	△945	△945
評価・換算差額等	487	413
新株予約権	65	83
純資産合計	96,326	103,295
負債純資産合計	156,750	153,923

◎総資産／自己資本比率



◎純資産



四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

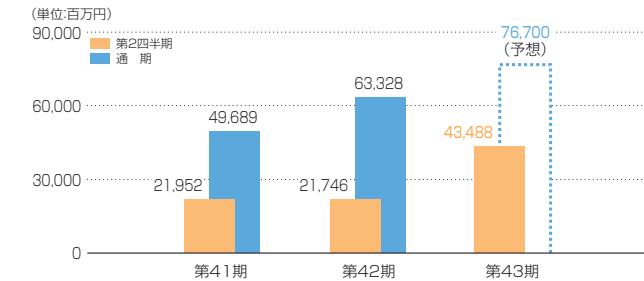
科目	第42期第2四半期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	第43期第2四半期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	21,746	43,488
売上原価	13,231	23,377
売上総利益	8,515	20,111
販売費及び一般管理費	9,850	11,629
営業利益又は営業損失(△)	△1,334	8,481
営業外収益	4,858	4,815
営業外費用	657	144
経常利益	2,866	13,152
特別利益	22	18
特別損失	289	138
税金等調整前四半期純利益	2,600	13,032
法人税等	△366	3,537
四半期純利益	2,966	9,495

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

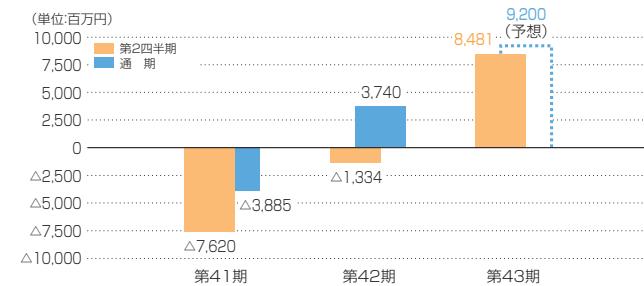
(単位:百万円)

科目	第42期第2四半期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	第43期第2四半期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,472	3,573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,289	△20,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,692	△2,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,505	△19,286
現金及び現金同等物の期首残高	38,911	38,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,417	19,684

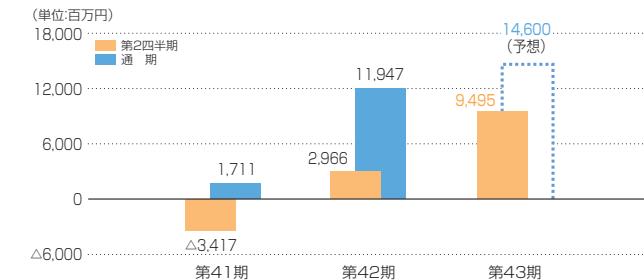
●売上高



●営業利益



●四半期(当期)純利益



会社概要

商号 株式会社 平和
(英文社名:Heiwa Corporation)

本社 〒110-0015
東京都台東区東上野二丁目22番9号

URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

創業 1949(昭和24)年

設立 1960(昭和35)年

資本金 167億5,500万円

役員
 代表取締役社長 石橋 保彦
 代表取締役副社長 嶺井 勝也
 専務取締役 諸見里 敏啓
 常務取締役 町田 徹
 取締役 吉野 敏男
 取締役 池本 泰章
 常勤監査役 川野 廣二
 監査役 佐藤 武志
 監査役 遠藤 明哲
 監査役 山田 公之

事業内容

パチンコ機の開発・製造・販売
パチスロ機の開発・製造・販売

事業所

本社、工場(伊勢崎)、北海道、仙台、高崎、東京、名古屋、大阪、広島、福岡 他20営業所

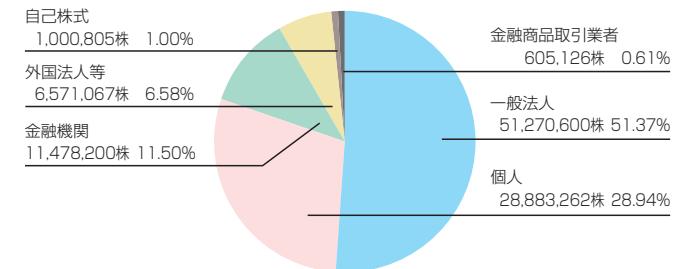
取引銀行

三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行

株式の状況

発行可能株式総数 228,903,400株
発行済株式の総数 99,809,060株
株主数 15,559名

株式の所有者別状況



株価チャート(月足)

